

三瓶山 1125m (島根県大田市)

山行報告 <<大宮岳稜会>>

日時:令和5年(2023年)5月11日(木)日帰り【個人】提出者> 簗島

メンバー:簗島 女1名

天気:晴れ

往路:10日 北上尾駅⇒東京駅⇒岡山駅⇒出雲市駅⇒大田市駅 レンタカーで三瓶温泉へ

歩き:11日 東の原登山口 4:30…大平山分岐 5:10…女三瓶山 5:25…男三瓶山 6:20…子三瓶山 7:25…孫三瓶山 7:55…大平山 8:35…東の原登山口 9:15

帰路:往路の逆 ⇒北上尾駅 行動時間 4:45

装備:ツェルト、ヘッドランプ、雨具、防寒着、コンパス、地図、ストック、非常食、スマホ、充電器

感想:現在の出雲一帯は、神様が、最初は三瓶山を、その後大山を杭として網をかけ、「国来、国来(くにこ、くにこ)」と言いながら新羅や能登半島の一部を網で引いて作ったという神話があるそうだ。

今回、爆裂火口を囲んだ峰々(溶岩円頂丘と言うらしい)を一周するルート歩いた。その日のうちに埼玉に帰りたいので早朝暗いうちから登山開始。一番標高のある男三瓶山そして、女三瓶・子三瓶・孫三瓶を全部踏破して無事下山した。男三瓶山からは日本海が見えた。下山後は茶色い37度源泉掛け流しの三瓶温泉共同浴場「亀の湯」(江戸時代に石見銀山の坑夫が利用していた)で汗を流し、帰路に着く。途中米子付近で、神話に出てきた大山を車窓から見る事ができた。



男三瓶山より子三瓶山、孫三瓶山を望む

